

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2022	開講キャンパス	都城	開設学科	園芸学専攻				
科目名称[英語名称]	西洋庭園学特論 I				授業形態	講義			
科目コード		単位数	2	配当学年	1	実務経験教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
教員氏名	平岡 直樹								
授業概要	本授業の目的は、まず西洋庭園とはどんなものかを把握することである。世界には6つの主要な庭園様式がある。それは、中国庭園(神秘的風景式)、日本庭園(象徴的縮景式)、イスラム式庭園(四分割式)、イタリア式庭園(露壇(テラス)式)、フランス式庭園(平面幾何学式)、イギリス式庭園(写実風景式)である。それらとの比較を通じて、西洋庭園の特徴を明確化する。次に、西洋庭園に関する用語、構成要素などの基礎知識を学ぶ。								
関連する科目	大学院の授業である東洋庭園学特論 I、近代庭園学特論 I などを受講することが望ましい。履修後は、西洋庭園学特論 II を履修することが望ましい。								
授業の進め方と方法	配布資料等で西洋庭園にかかわる基本概念や基本知識を再確認する。必要に応じて学外に実際の庭園を視察し、計測や評価を行う。データ等は持ち帰り整理、解析等を行う。ほとんどの授業にてテーマに沿って、調査や取りまとめた課題を報告し、意見交換をする、もしくは学外にて調査を行うなどアクティブラーニング型の授業を行う。								
授業計画	1 ガイダンス 世界の庭園様式を考察								
	2 中国庭園 神秘的風景式の特徴を考察								
	3 日本庭園 象徴的縮景式の特徴を考察								
	4 イスラム式庭園 四分割式の特徴を考察								
	5 イタリア式庭園 露壇(テラス)式の特徴を考察								
	6 フランス式庭園 平面幾何学式の特徴を考察								
	7 イギリス式庭園 写実風景式の特徴を考察								
	8 西洋庭園の歴史 歴史的な変遷を広く考察								
	9 西洋庭園の作庭理念と社会 造園と社会経済とのかかわりを考察								
	10 西洋庭園の構成要素 イタリア式庭園を中心に構成要素を考察								
	11 西洋庭園の構成要素 フランス式庭園を中心に構成要素を考察								
	12 西洋庭園の構成要素 イギリス式庭園を中心に構成要素を考察								
	13 西洋庭園の構成要素 その他の様式の構成要素を考察								
	14 世界の西洋庭園 世界に広がった西洋庭園様式を考察								

	15 西洋庭園の現在 西洋庭園の維持管理に関わる現状と課題を考察	
学位授与の方針(DP)との 関連	1. 専門分野に関する知識・技能と教養	1
	2. 人間力、社会力、国際性の涵養	2
授業の到達目標	1) 授業を通じて、西洋庭園についての幅広い知識を身につける。 2) 西洋庭園の歴史について知識を身につける。 3) 西洋庭園の作庭技術について詳しくなる。	
授業時間外の学修	第1回目の授業で示す参考図書など、主に基礎的な西洋庭園に関する資料を授業前に読んでおく。授業後に理解が曖昧な時は再度精読する。また、庭園についての知見を深め、世界の庭園の理念や技術の違いを理解するために、身近な庭園や公園等に赴き、その成り立ちや構成、構成要素などについて考察を深めておく。予習復習2時間程度必要である。	
課題に対するフィードバック	課題等は確認した後に返却する。必要に応じてコメントする。	
評価方法・基準	受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点、プレゼンテーション	
テキスト	関連書籍及び関連論文	
参考書	授業において提示する。主なものを以下に挙げておく。 ①『ヨーロッパ庭園物語』ガブリエーレ・ヴァン・ズイレン著、創元社、1999 ②『庭園の世界史』ジャック・ブノア＝メシヤン、講談社学術文庫、1998 ③『世界の庭園歴史図鑑』ペネロピ・ボブハウス、原書房、2014	
備考		